

2019年12月9日

報道関係各位

株式会社OKB総研

## 「OKB景況指数」2019年12月期調査報告

OKBグループのシンクタンク(株)OKB総研(大垣市郭町2-25 社長 五藤 義徳)は、3ヵ月ごとに景況調査を行い「OKB景況指数(旧K-REX)」を公表しております。このたび、2019年12月期調査報告を取りまとめいたしましたのでご案内します。

### 調査結果要旨

景気の水準	水準は5期連続で低下し、2期連続でマイナス圏。 岐阜県は2期連続でマイナス圏、愛知県もマイナス圏に 落ち込む。
景気の方角	世界経済の不透明感が解消されず、先行きに対して弱気の見通 しが続く。

### OKB景況指数とは・・・

#### OKB大垣共立銀行の支店長を対象に3ヵ月ごとに調査を実施

東海3県にある**OKB大垣共立銀行の支店長を調査対象**としている点が大きな特徴。銀行の支店長は、地域の企業活動や個人の景況感を総合的に捉えている。幅広い視点から地域の景況感を把握するには、銀行支店長への調査は有効な方法となる。

#### 県域より狭い地域の景気の水準と方向を集計

「名古屋」、「西三河」、「西濃」など、**県域より狭い地域の景気水準を表す指標**を公表している。

(注) 東海3県の当該県域全体を対象としていない(OKB大垣共立銀行の支店所在地エリアが対象)。

資料配布場所：名古屋金融記者クラブ、大垣市政経済記者クラブ

【本件に関する問合せ先：OKB総研 調査部 瀬藤・後藤 TEL 052-564-1520】

# OKB景況指数（2019年12月期調査報告）

## 調査概要

- (1) 調査対象 東海3県にあるOKB大垣共立銀行の法人取引のある112支店の支店長
- (2) 調査内容 調査時点の景気水準および3ヵ月後の景気の方
- (3) 調査方法 2019年11月下旬に調査票を配付し、11月末までに回収

## 調査結果

**景気的水準：** 水準は5期連続で低下し、2期連続でマイナス圏。  
 岐阜県は2期連続でマイナス圏、愛知県もマイナス圏に落ち込む。

**景気の方**： 世界経済の不透明感が解消されず、先行きに対して弱気の見通しが続く。

	景気的水準(2019年12月期)	景気の方(3ヵ月後見通し)
全地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景気全般は▲7.3（前回は▲6.7）と2期連続でマイナスとなり、景気の停滞感が強まる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・▲27.5と「悪化」超</li> </ul>
	(支店長コメント) 米中貿易摩擦が長期化するなかで、堅調な自動車関連企業にも受注減の影響、先行きに対する懸念が増している。消費税増税後の反動減についてはキャッシュレス決済に対するポイント還元などの効果もあり影響は限定的との声が多い。	
県別	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県は前回調査から大幅に低下し、▲8.5（前回は▲14.1）と3年ぶりにマイナス圏に突入。</li> <li>・岐阜県は▲6.9と、前回調査の▲5.3に続きマイナス圏で推移。低下は6期連続。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県は▲31.0と「悪化」超</li> <li>・岐阜県は▲24.5と「悪化」超</li> </ul>
	(支店長コメント) ・愛知県では、自動車関連企業は堅調さを維持しているものの、米中貿易摩擦、自動車業界の変化に対する懸念が増している。 ・岐阜県では、製造業は工作機械を中心に減速が続いているが、建設業界は同業間でバラつきはあるものの概ね好調。	
地域別	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜県内は、岐阜は前回は▲2.3、西濃は同▲5.6、東濃・可茂は横ばいであったのに対し、愛知県内は、東尾張同▲16.0、西尾張同▲19.4、西三河同▲12.5と下げ幅が大きい。</li> <li>・なお、プラス水準は12.5の西三河のみ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「良化」超 該当なし</li> <li>・「悪化」超 名古屋、東尾張、西尾張、西三河、岐阜、西濃、東濃・可茂、桑名・四日市</li> </ul>
	(支店長コメント) <b>【西三河地域】</b> 業績は総じて堅調であるものの、米中貿易摩擦や、内燃エンジンからEVへのシフトによる影響など複合的な懸念材料もあり、先行きを不安視する声が多くなっている。 <b>【東濃・可茂地域】</b> 国内は5G関連で設備投資は増えてきている。米中貿易摩擦の影響で停止していた中国向け受注も動き出しそうである。	
項目別	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「全地域」を項目別に見ると、「個人消費」「生産活動」「設備投資」「企業収益」は前回調査から10ポイント前後の低下。</li> <li>・一方「雇用」は3期連続で不足感が低下しており、人手不足感が若干の改善が見受けられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「増加」超 該当なし</li> <li>・「減少」超 「個人消費」、「生産活動」、「設備投資」、「企業収益」、「資金需要」</li> <li>・「不足」超 「雇用」</li> </ul>
	(支店長コメント) <b>「個人消費」</b> ：消費税増税の影響は限定的であるとの声が多いが、所得が増加する見込みがなく個人消費に力強さがない。 <b>「生産活動」</b> ：好調な自動車関連企業においても、受注減が出てきている。今後も、米中貿易摩擦の影響等によってさらに落ち込むことへの懸念も増えている。 <b>「設備投資」</b> ：人手不足への対応として省力化投資需要は堅いが、先行き不透明感から新規、大規模投資には慎重な姿勢が続く。 <b>「企業収益」</b> ：人件費、運送費、原材料費の高騰に加えて、売上げ、受注減による収益の悪化の声が増えてきている。 <b>「雇用」</b> ：人手不足が一向に解消されないという声が依然として多いなかで、「人手が足りないという話を聞かなくなってきた」という声も出てきた。	

\* (支店長コメント) は、該当エリア・項目の調査結果(水準・方)と関連したコメントを掲載しています。

■指数および算出方法について

- ①「景気的水準」・・・調査時点における地域の景気の「水準」を示す指数。
- ②「景気の方角」・・・景気の「水準」に対して、景気の方角を示す指数。

各指数は、最高点が100、最低点が▲100となる。①「景気的水準」を表す「景気全般」の場合、右記の表の通り、各項目の回答にポイントを付与。支店の規模によるウエイト調整を行った上で、地域毎のポイント合計を当該地域の全支店長が「良い」と回答した場合のポイント合計で割り、100を乗じて算出する。

地域の景気水準を表す「景気全般」の場合

現在の景気に対して	付与ポイント
良い	2ポイント
どちらかといえば良い	1ポイント
良くも悪くもない	0ポイント
どちらかといえば悪い	▲1ポイント
悪い	▲2ポイント

図表1 OKB景況指数「景気的水準」(2019年12月期)

地域名	景気全般		個人消費		生産活動		設備投資		企業収益		資金需要		雇用	
	今期水準(前同比)	見通し	今期水準(前同比)	見通し										
名古屋	▲14.7(▲8.8)	👉	▲2.9(▲5.9)	👉	▲2.9(0.0)	👉	▲8.8(+2.9)	👉	▲8.8(▲17.6)	👉	▲17.6(+14.7)	👉	70.6(+8.8)	👉
東尾張	▲12.0(▲16.0)	👉	4.0(▲2.0)	👉	▲10.0(▲12.0)	👉	▲8.0(▲14.0)	👉	▲12.0(▲18.0)	👉	▲4.0(+10.0)	👉	74.0(+2.0)	👉
西尾張	▲8.3(▲19.4)	👉	▲13.9(▲13.9)	👉	▲8.3(▲19.4)	👉	▲8.3(▲13.9)	👉	▲16.7(▲25.0)	👉	▲16.7(+5.6)	👉	72.2(▲2.8)	👉
西三河	12.5(▲12.5)	👉	0.0(▲12.5)	👉	25.0(0.0)	👉	12.5(▲12.5)	👉	0.0(▲25.0)	👉	0.0(▲25.0)	👉	50.0(▲25.0)	👉
東三河	0.0(0.0)	👉	0.0(0.0)	👉	0.0(0.0)	👉	16.7(0.0)	👉	0.0(0.0)	👉	0.0(▲16.7)	👉	66.7(+16.7)	👉
岐阜	▲4.7(▲2.3)	👉	▲15.1(▲18.6)	👉	▲5.8(▲7.0)	👉	▲4.7(▲17.4)	👉	▲4.7(▲9.3)	👉	▲29.1(▲5.8)	👉	65.1(▲9.3)	👉
西濃	▲1.9(▲5.6)	👉	▲20.4(▲14.8)	👉	3.7(▲7.4)	👉	▲3.7(▲3.7)	👉	▲5.6(▲3.7)	👉	▲25.9(+5.6)	👉	57.4(▲5.6)	👉
東濃・可茂	▲22.2(0.0)	👉	0.0(+11.1)	👉	▲11.1(▲5.6)	👉	0.0(▲11.1)	👉	▲27.8(▲16.7)	👉	▲16.7(▲5.6)	👉	61.1(▲5.6)	👉
飛騨・郡上	0.0(+16.7)	👉	▲33.3(▲16.7)	👉	▲33.3(▲50.0)	👉	▲83.3(▲66.7)	👉	▲16.7(0.0)	👉	▲66.7(▲50.0)	👉	83.3(+33.3)	👉
桑名・四日市	0.0(0.0)	👉	0.0(0.0)	👉	▲16.7(▲16.7)	👉	0.0(0.0)	👉	▲16.7(0.0)	👉	▲33.3(0.0)	👉	33.3(▲16.7)	👉
愛知県(5地域)	▲8.5(▲14.1)	👉	▲2.8(▲7.0)	👉	▲3.5(▲9.2)	👉	▲4.9(▲9.2)	👉	▲10.6(▲19.7)	👉	▲9.9(+4.9)	👉	69.7(0.0)	👉
岐阜県(4地域)	▲6.9(▲1.6)	👉	▲14.9(▲11.7)	👉	▲5.9(▲9.6)	👉	▲8.5(▲15.4)	👉	▲10.1(▲8.5)	👉	▲28.2(▲5.3)	👉	63.3(▲4.8)	👉
三重(1地域)	0.0(0.0)	👉	0.0(0.0)	👉	▲16.7(▲16.7)	👉	0.0(0.0)	👉	▲16.7(0.0)	👉	▲33.3(0.0)	👉	33.3(▲16.7)	👉
全地域	▲7.3(▲6.7)	👉	▲9.4(▲9.4)	👉	▲5.3(▲9.6)	👉	▲6.7(▲12.3)	👉	▲10.5(▲12.9)	👉	▲20.8(▲0.9)	👉	64.9(▲3.2)	👉

(\*1) 各項目の「今期水準」は5つの選択肢にそれぞれポイントを付与したうえで算出。

例えば「景気全般」は、「良い」に2ポイント、「どちらかといえば良い」に1ポイント、「良くも悪くもない」に0ポイント、「どちらかといえば悪い」に▲1ポイント、「悪い」に▲2ポイント付与。各回答に付与したポイント合計を、全回答が「良い」とした場合のポイント合計で除して算出。同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。

(\*2) ( ) 内の前同比は、前回調査時の各指数からの変化幅を表記。

(\*3) 見通しは図表2 OKB景況指数「景気の方角(3ヵ月後見通し)」の「良化(増加・不足) - 悪化(減少・過剰)」の数値が、プラスの場合は👉、マイナスは👉、0は👉で表記。

図表2 OKB景況指数「景気の方角(3ヵ月後見通し)」(2020年3月期見通し)

(単位: %ポイント)

地域名	景気全般	個人消費	生産活動	設備投資	企業収益	資金需要	雇用
	「良化」 - 「悪化」	「増加」 - 「減少」	「不足」 - 「過剰」				
名古屋	▲35.3	▲23.5	▲52.9	▲23.5	▲23.5	▲5.9	52.9
東尾張	▲32.0	▲8.0	▲16.0	0.0	▲36.0	▲12.0	20.0
西尾張	▲33.3	▲22.2	▲38.9	▲38.9	▲55.6	▲11.1	33.3
西三河	▲25.0	0.0	▲25.0	▲25.0	▲25.0	0.0	0.0
東三河	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
岐阜	▲32.6	▲18.6	▲27.9	▲25.6	▲32.6	▲14.0	14.0
西濃	▲18.5	▲22.2	▲14.8	▲25.9	▲33.3	▲25.9	14.8
東濃・可茂	▲22.2	0.0	▲33.3	0.0	▲22.2	0.0	22.2
飛騨・郡上	0.0	▲33.3	0.0	▲66.7	33.3	0.0	66.7
桑名・四日市	▲33.3	0.0	▲33.3	▲33.3	▲33.3	▲33.3	0.0
愛知県(5地域)	▲31.0	▲14.1	▲31.0	▲16.9	▲35.2	▲8.5	28.2
岐阜県(4地域)	▲24.5	▲17.0	▲23.4	▲23.4	▲26.6	▲13.8	19.1
三重(1地域)	▲33.3	0.0	▲33.3	▲33.3	▲33.3	▲33.3	0.0
全地域	▲27.5	▲15.2	▲26.9	▲21.1	▲30.4	▲12.3	22.2

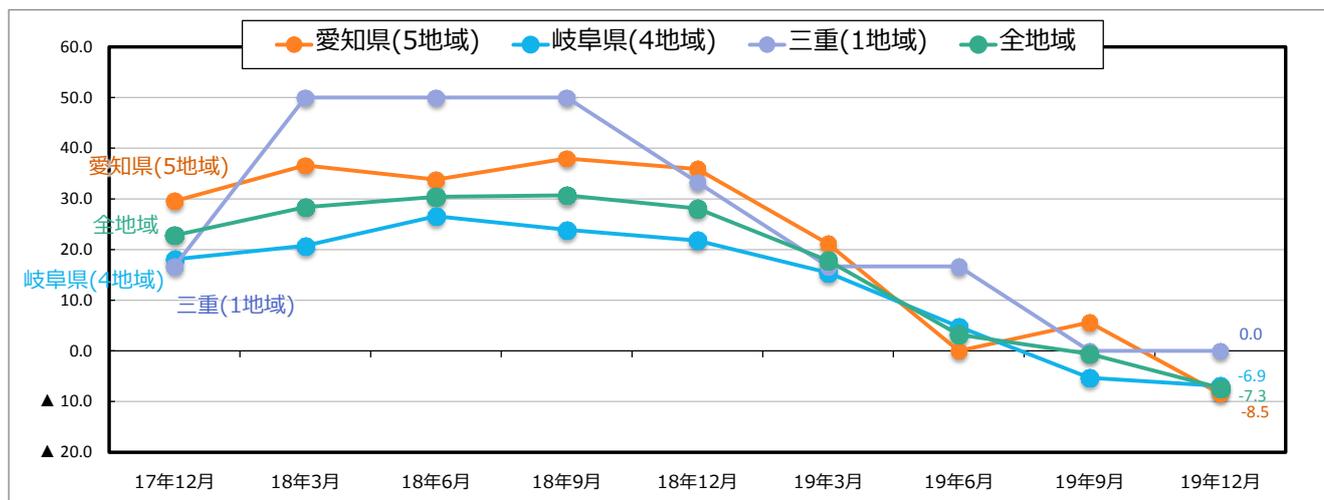
(\* ) 景気全般は、3ヵ月後には景気が今より「良くなりそう」と回答した割合(%) - 「悪くなりそう」と回答した割合(%)

他の6項目は、3ヵ月後には今より「増えそう(不足しそう)」と回答した割合(%) - 「減りそう(過剰となりそう)」と回答した割合(%)

「景気的水準」同様、同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。

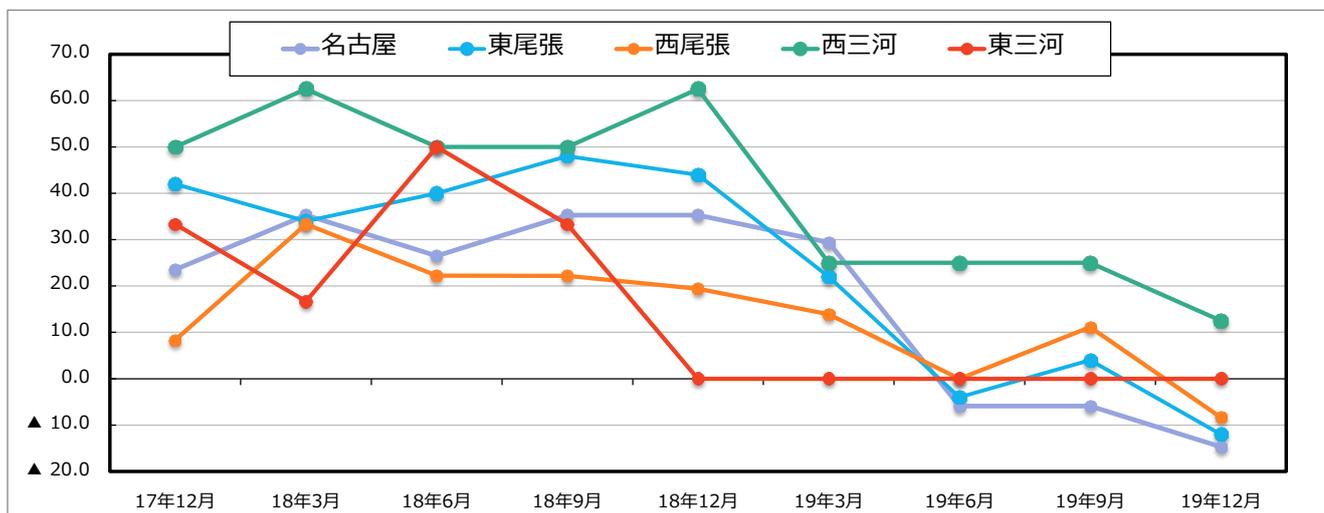
# 「景気の水準」の推移

## ■ 県別

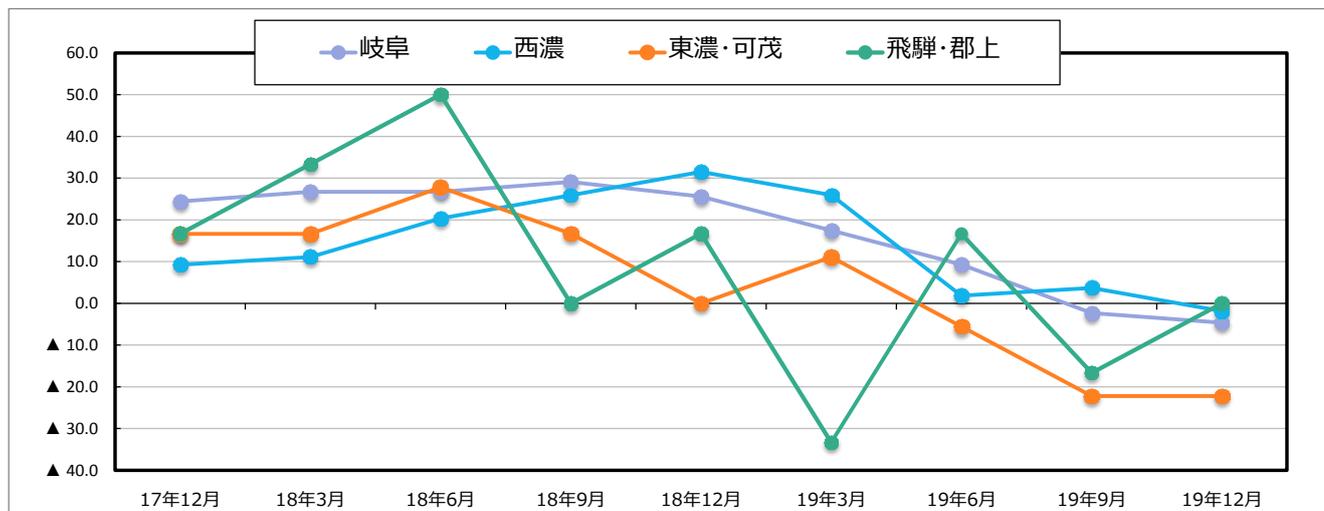


## ■ 地域別

### ① 愛知県内



### ② 岐阜県内



以上